

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 准教授 乾 展子

取組状況	
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2学年では、音声を聞かせての単語テストを実施した。聞きながら英語を理解する演習を多く取り入れた。読解の授業では単なる日本語訳や文法の演習だけではなく、スラッシュリーディングやペア音読も取り入れた。 ・専攻科の授業では理系の説明文を多く読むことで、専門分野の文章を読む演習をできるだけ多く取り入れた。
研究	<p>英語史の古英語から現代英語にいたるまでの命令や願望の動詞に続く従属節での仮定法を用いた用法を対象に分析を行った。仮定法は直接法や助動詞による用法の発達によって衰退してきたと言われているが、それ以外に、「不定詞」への移行も十分に観察できることが、通時的に文献を比較することで分かった。この変化の過程についてミニマリスト・プログラムを用いて分析しているところである。</p> <p>今年度理系の先生が実験を英文で指示するという研究を行い、その英文作成に携わった。</p>
社会貢献	特になし